

令和5年度 SSH 海外研究交流報告

7月28日～8月1日、生徒8名がシンガポールを訪問し、英語で研究発表をおこないました。4年ぶりに再開した本年度の海外研究交流（海外研修）は、コロナ状況のなか企画段階からさまざまな困難ありましたが、充実した研修となりました。

実施の趣旨と目的

1. 国際的な協働のもとでの研究をやりぬく力を生徒が主体的に育む教育の土台作りのひとつとして今年度の海外研修を位置づける。
2. 海外の大学研究機関において自らの研究計画や成果を発表し、英語でのディスカッションを通じて、国際的な環境で研究を行うためのコミュニケーション力とプレゼンテーション力を養う。
3. 海外の高校生のさまざまな研究発表に接して自らの研究の視野を広げ、さまざまな研究方向や方法について学ぶ。
4. シンガポールという土地での研修を通じて、文化多様性について理解を深める。

研修内容

- ・高校生による国際的研究会へ参加し、科学・技術に関するさまざまな研究発表を聴講し、意見交換をおこなう。
- ・科学者講演会を聴講する。
- ・大学施設において全員が研究発表をおこない、研究者やファシリテーターとのディスカッションを行う。

日程

令和5年7月28日～8月1日

訪問先

シンガポール

参加者

2年生7名、3年生1名、引率教員2名

スケジュール

7月28日

- ・朝、羽田空港集合。午前中の便でシンガポール、チャンギ国際空港へ。夕方ホテルにチェック・イン後ミーティング。

7月29日

- ・南洋理工大学 Nanyang Technological University (NTU)にて Global Link Singapore 2023 に参加。
- ・南洋理工大学 Hong Li 教授による基調講演を聴講。
- ・アジア各国から参加した高校生による、基礎科学・応用科学・社会科学の各分野のさまざまなルーム・プレゼンテーションとポスター・セッションを通じて、英語による質疑応答と意見交換。
- ・3年西平怜広、応用科学のカテゴリーでルーム・プレゼンテーション。

7月30日

- ・南洋理工大学 Nanyang Technological University (NTU)にて Global Link Singapore 2023 に参加。

- ・ホールにおいて優秀発表のステージ・プレゼンテーションを聴講。
- ・午後のアクティビティ・タイムやフェアウェル・ディナーを通じて参加した高校生同士の交流。

7月31日

- ・シンガポール国立大学 Singapore National University にて、全員が研究計画について英語でプレゼンテーションとディスカッションを行う。



- ・午後シンガポール市内視察、Gardens by the Bay 訪問。



- ・チャンギ国際空港より深夜便で羽田へ。

8月1日

早朝、羽田着、解散。